

子どもの発達の土台を知っていますか

愛着が子どもの心を育てます

子どもは、大人に愛され守られることで、安心感を持ちます。人への信頼感や安心感が土台となり、子どもの興味や意欲を引き出すとともに、心身の発達を促し、将来の自己肯定感を高めることにつながります。そのため、愛着が全ての子どもの成長に欠かせません。

問い合わせ 子育て応援課発達支援係(プラザけやき内 ☎37-1137)



■愛着とは

子どもと親や養育者との間に形成される情緒的な絆のことです。子どもは、生まれてから5歳くらいまでの間に、親や養育者との間に安心感や信頼感を覚え、愛着を形成します。そして、周囲の世界へ関心を広げ、認知力や豊かな感情を育みます。

愛着がしっかりと築かれると、「自分は愛され守られている」というイメージを持ち、子どもが成長するための大きな力になります。

■愛着を育み、発達を促すスキンシップ

抱っこしたり、微笑み合ったりなど、積極的に触れ合うことで、子どもの愛着が形成されます。

スキンシップをとることで、子どもだけでなく、親や養育者も幸せホルモンと呼ばれるオキシトシンが分泌され、穏やかな気持ちになることができます。

子どもの成長に欠かせないスキンシップはとても大切ですが、積極的にスキンシップをとることが苦手な子どもや親、養育者もいると思います。そのような時には、一緒に生活する中で、「楽しいね」「ご飯おいしいね」など、子どもに合わせた語りかけをするなど、無理なくできそうなことをしてみてください。

子どもは、親や養育者と一緒に遊び、声を掛けてもらうことで、言葉を知り覚えます。また、目を合わせ笑うことで、コミュニケーションの取り方を覚えます。

■子どもの発達には、個人差があります

乳幼児期は、生まれもつ素質や育つ環境の違いなどで、心身の発達に個人差が大きく見られます。子どもの発達の具合や性格などにより、スキンシップへの反応もさまざまです。触れ合って愛着関係を深めようとしても、子ども自身が触られる感触が苦手で嫌がったり、反応が薄かったりすることがあります。触れ合いの方法や強さ、触れる場所を少しずつ変えながら、たくさん遊ぶ中で、子どもが好む触れ合い方が見つかる場合もあります。

子どもの育ちに関して、心配なことや不安を感じることがあれば、一人で悩まずに各相談機関へ気軽に相談ください。

市の相談先

- 就園前** 子育て応援課発達支援係
(プラザけやき内 ☎37-1137)
- 就園児** こども政策課幼保こども園係
(プラザけやき内 ☎37-1131)
- 就学児** 学校教育課学校指導係
(中央公民館内 ☎73-1113)

その他相談先

- 東遠地区生活支援センター
(菊川市内 ☎35-2971)
- 静岡県中西部発達障害者支援センターCOCO
(島田市内 ☎0547-39-3600)

ふれあいあそび紹介

●感触・触れる

人との接触に慣れると共に、声を出して笑うことで、脳にさまざまな刺激が伝わります。

(例: くすぐりあそび、ぎゅっと抱きしめる、おでこをくっつける)



●上下左右の動き

上下に優しく動かすことで、脳に刺激が伝わります。(例: たかいたかい、ひこうきあそび)

左右に揺れる動きが、バランス感覚を育てます。(例: 抱っこでゆらゆら、ぶらんこ)

